生徒に見られるつまずき

　叙述の順序が書き手の考えにどのような説得力をもたらしているのかを考えながら読むことができない

つまずき解消に向けた指導のポイント

　本論の例示を別々に提示し、グループで意見を交流しながら筆者の論理の展開を推論し、正しい配列について根拠を元に仮説を立てさせ、教科書で学習した説明文の形式を用いて作文を書かせる。

指導事例集ｐ．４１

１　学年・単元名　第２学年　分析的に考える『動物園でできること』（読むこと）

２　単元目標

　　「本論」で書かれてある例示について考え、自分なりの根拠をもつ。

３　単元の内容

資料：ノート

　 ・「序論」「結論」を学び、「本論」の例示を配列するヒントとする。

　　・「本論」に例示を三つ入れるなら、どんな動物を入れるか考える。

資料：ワークシート①　記入済みワークシート

　　・「本論」の例示を別々に提示し、根拠をもとに配列を個人で考える。

資料：記入済みワークシート②　時間がなければ、そのまま提示

・グループで意見を交流することで筆者の論理の展開を推論し、仮説を立てる。（本時）

・筆者の配列を知り、自分たちの仮説と比較する。（本論）

資料：ホワイトシート

・学習した説明文の形式を使って作文を書く。

４　本時の目標

（１）効果的に主張を述べるための配列を自分なりに考えることができる。

（２）筆者の並べた順序を知り、筆者の意図に気付くことができる。

（推測し、根拠立ててまとめる。）

　　（３）仲間の意見を聞き、自分の考えと比べ、そこから学んだことをまとめることができる。

５　本時の展開　　**太字はつまずきに対する手立て**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 生徒の活動 | 指導上の留意点 |
| 導　入 | １．前時の復習と本時の目標の確認。筆者が提示した例示の配列を考えよう。 | ・前時の「楽しさ」と「学び」が融合した観点について振り返る。ワークシート①使用 |
| 展　　開 | ２．例示を配布してもらう。３．表現の特色について考える。・ワークシート②を使って例示を整理する。・具体例の配列を考える。　①ペア**学ぶ人数を変えることで、自分の意見を無理なく持つことができるようになる。**　②個人　③グループ | ・この本論の例示は、順序を表す言葉（次に）は削ったものを配布する。・時間が無ければ記入済みを配りポイントとなるところだけ（赤線部分）説明する。①ペアで考える手立てや目安を交流することで安心して考えられる環境を整える。②個人で①で気づいた手立てをもとに自分の並びを考え根拠も言えるようにする。③グループで司会を立て、全員の意見を出させ交流する。・互いの違いを比べ、根拠ある並び方を考える。 |
|  | ４．筆者が考えた例示の配列を知り自分たちのものと比較する。５．どのような効果を考えてか意見をまとめ発表する。 | **・違った部分をさらに追究させてみる。**・意見をまとめホワイトシートに記入させる。　　　　　　　**Ａ　配列　Ｂ　理由はキーワードで**・司会者が、**キーワードをつなぐ形で**発表させる。・その後、教師が全グループの内容をまとめる。　（今回は本文から読み取れるものと文体から読み取れるものに分かれた。）ホワイトシート参考 |
| まとめ | ６．本日の振り返りを行う。 | ・配列の順序によって筆者の主張が変わることについて振り返らせる。・次回は「私にできること」について作文を書くことを予告しておく。 |

６　準備物

　ホワイトシート

７　つまずきの解消に向けて

（１）単元における予想されるつまずき

　　①　配列は考えられても、根拠が書けない。

　　②　作者の配列による効果についての意見のまとめ方や比較の仕方が分からない。

（２）つまずき解消に向けた取り組み

　　①に対して

・ペアワークを使って気軽に意見を出し合わせ、推測する材料を増やす。

　　・ペアワークで出た意見を自分の言葉で表現する時間を確保する。（個人ワーク）

　　・個人で考えた意見をみんなの前で発表し、比較することによりさらに根拠が深まる。

　　②に対して

　　・自分たちの意見の違った部分に注目させる。

・ホワイトシートの記入法を提示することでまとめ方が安易になる。

　　・キーワードを使って発表するので、内容がより絞られる。

　　・最後のまとめで教師がさらなる比較の視点を与えるようにする。